



新年のご挨拶



年頭所感

栃木県議会議長 池田忠

新年おめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、県議会を代表し、謹んで御挨拶を申し上げます。

一般社団法人栃木県建設業協会におかれましては、地域貢献活動に積極的に取り組まれるほか、各分野で先進的な取組を積極的に推進するとともに、優れた技術・技能をもって、社会資本の整備に大きく貢献しております、日頃からの並々ならぬ努力に深く敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

私は、昨年3月、歴史と伝統ある第112代栃木県議会議長に就任いたしました。ふるさとの未来と本県のさらなる発展を願い、責務を果たしてこられた歴代議長の歩みに応えるべく、公正・公平で活気ある議会の実現に向け、全力で取り組んで参りました。

おかげをもちまして、二元代表制の一翼を担う県議会が、その役割を確実に果たせるよう尽力しながら、新年を迎えることができました。これもひとえに、皆様方の温かい御支援と御協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、物価高騰や人手不足、米国の関税措置など、地域を取り巻く課題が山積した一年がありました。加えて、少子化をはじめとする人口減少問題の克服に向けて、県では「人口未来会議」を設置し、将来を見据えた議論を重ねて参りました。また、AI技術の急速な発展や社会全体のICT化が加速する中、産業構造や働き方にも大きな変化が生じ、これらの技術をいかに活用して課題解決につなげるかが、ますます重要となった一年でもありました。

こうした中、県では令和8年度を初年度とする、県政の新たな基本方針「とちぎ未来創造プラン（仮称）」の策定を進めております。県議会が設置した検討会は、プランに掲げる本県の目指すべき将来像「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現に向け、県民が“とちぎ”的将来像を明確に描けるよう、提言を行ったところですが、次代を担う若い世代はもとより、あらゆる世代の県民が未来に夢や希望を持ち、“とちぎ”に生まれて良かったと思えるよう、県民の皆様の意見をしっかりと取り入れながら、執行部とともに取り組んで参ります。

また、「共に創る 人も地域も輝く“元気なとちぎ”」の実現には、県民の命と暮らしを守る社会資本の維持・充実を着実に推進していく必要があり、建設業はその重要な役割を担っていると認識しております。さらに、皆様には、近年頻発・激甚化する自然災害への対応にも御尽力いただいており、改めて、建設業は地域の守り手であるという認識を深めたところです。

県議会といたしましては、「すべての県民が安全・安心に生活できる“とちぎ”」を目指し、防災・減災、県土強靭化を積極的に支援して参りますので、引き続き「地域の創り手・守り手」である皆様の、御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人栃木県建設業協会のますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。